

JVC ケンウッドグループ AI 倫理方針

JVC ケンウッドグループは、「感動と安心を世界の人々へ」を企業ビジョンとして掲げ、事業を通じて持続型社会の実現に貢献しようとしています。JVC ケンウッドグループは、事業活動を通じて直接または間接的に、AI がステークホルダーに対して影響を及ぼす可能性があることを理解しています。JVC ケンウッドグループは、AI 倫理方針を定め、ステークホルダーとの対話を進めるとともに、AI の活用・応用を促進する努力をしております。

I. 位置づけ

JVC ケンウッドグループは、内閣府による「人間中心の AI 社会原則」、OECD による「AI 原則」に従って本方針を定め、AI の活用・応用の取り組みを推進していきます。本方針は、「JVC ケンウッドグループ コンプライアンス行動基準」に基づいた AI 倫理の考え方および責任について示したものです。

II. 適用範囲

JVC ケンウッドグループは、本方針をすべての役員と従業員が AI の活用や研究開発を行う際に適用し、事業活動に反映させます。また、事業を通じて影響を及ぼす可能性のあるビジネスパートナーやサプライヤーを含むバリューチェーン上のすべてのステークホルダーにも本倫理方針の遵守や、適切な対処を積極的に働きかけていきます。

III. AI 倫理方針

1. 法令と国際規範の遵守

JVC ケンウッドグループは、AI を利用・応用した事業活動を行う各国・地域の法令や規範を遵守します。

2. 人権の尊重

JVC ケンウッドグループは、各国・地域の人びとの幸福につながる AI の利用・応用を行うことで、人間の尊厳が守られる人間中心の社会の実現とその継続を目指します。また、基本的人権を尊重して差別を禁止し、プライバシーなどを含めた人権侵害を引き起こさないよう最善の注意を払います。

3. 安全性の確保

JVC ケンウッドグループは、AI の利用・応用において、安全性の確保を目指すとともに、不正なアクセス等セキュリティリスクに継続的に対応してまいります。

4. 透明性と説明責任

JVC ケンウッドグループは、AI を利用・応用した製品・サービスにおいて、AI の透明性が向上するように努め、AI の判断理由を用途や状況に応じて説明できるように努めます。

5. AI の発展と人材育成

JVC ケンウッドグループは、より良い社会を実現する AI の発展に貢献し、すべての事業活動において本方針が理解され、それぞれの活動の中で効果的に実行されるよう、教育や訓練を実施していきます。

6. ステークホルダーとの対話

JVC ケンウッドグループは、本方針の一連の取り組みにおいて、関連するステークホルダーと積極的に対話を行います。

2022 年 5 月 31 日

株式会社 JVC ケンウッド

代表取締役 社長執行役員 最高経営責任者（CEO）

江口 祥一郎